

総務
常任委員会

市民オーケストラの設立準備として大型楽器を購入

白河市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例のほか、議案3件が付託されました。



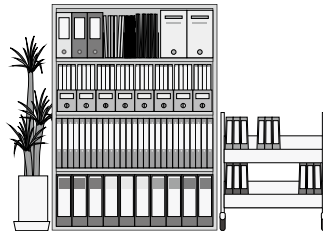
議案第90号
令和2年度白河市一般会計
補正予算(第6号)

問 白河市市民オーケストラ設立準備事業の機器購入について

答 NTTドコモの東北応援社員募金の自治体寄付を受け、市民オーケストラで使用する大型楽器を購入するものである。現時点では、ティンパニ、バスドラム等の購入を予定しているが、指導者等の意見を参考にしながら、今後、楽器の選定を行っていききたい。

問 賦課徴収費の台帳整備業務委託の内容及び委託先について

答 土地台帳や家屋台帳等の紙資料を電子化して、各庁舎間で資料の共有化等を図るものであり、指名競争入札の方法により、業者を選定していききたい。



問 9月補正の繰り上げ償還(借入金返済)について

答 公債費(市の借入金)の縮減等を図るため、9月補正で15事業の借入15億6050万円のうち、7億1358万円を繰り上げ償還(返済)するもので、利子として4775万円が軽減される。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

市民産業
常任委員会

「思いやり条例」市の責務、市民の責務を確認

白河市手数料条例の一部を改正する条例のほか、議案2件が付託されました。

議案第96号
白河市思いやり条例

問 「白河市思いやり条例」とは、どのような目的と内容なのか

答 新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病、障がい、性別等を理由とした誹謗中傷又は偏見に基づく差別的な言動による社会的な孤立をなくし、市民一人ひとりが思いやりの心を持ち、思いやりの心で住みよい地域社会の実現を目的とするもので、市の責務として、正確な情報を市民に対し速やかに伝達し、正しい知識に基づく広報などの必要な施策を行い、適切な支援及び助言を行う。
また市民の責務として不当な差別等を行わないよう努めるものとする。

議案第90号
令和2年度白河市一般会計
補正予算(6号)

問 農業の未来をつくるス마트農業推進事業で主だった機器

は、どのようなものがあるのか
答 申請や相談がある12件のうち6件が農業用ドローンの導入であり、使用している方からは省力・軽労化につながるとの声を聞いている。

また密苗用田植え機や収量、食味センサー付きコンバインなどは新規でも就農しやすい環境整備等が期待できる。

問 災害対策事業の防災行政情報配信システムの防災ラジオの郵送対象者にはどれくらいの期間で配布が完了するのか

答 75歳以上の高齢者世帯等の対象者には10月中旬に申請書を発送し、申請書が返送され次第、順次発送し、年内完了を目指している。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

教育福祉
常任委員会

学習者用タブレット端末機器を1人1台整備

白河市債権管理条例等の一部を改正する条例のほか、議案10件が付託されました。

議案第85号
動産の取得について

問 GIGAスクール構想の実現のための学習者用タブレット端末機器の単価について、国が補助対象とする購入費上限額を1台4万5千円としている。今回の契約での1台あたりの単価を確認したい。

答 国の補助対象となる基本パッケージでは、タブレット端末・キーボード・モバイルデバイス管理ソフトの3点で、今回の契約では1台あたり4万4990円になるが、市として独自に、児童生徒の

作品や撮影した写真などをサーバーに保存するためのソフトを追加することにより、1台あたり4万6090円となった。

※GIGAスクール構想／Global and Innovation Gateway for AI（児童生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備。誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力を育成できる教育ICT環境を実現すること）

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決及び同意しました。

学校の感染症対策、発熱外来を現地調査

8月6日に「学校の新型コロナウイルス感染症対策状況」、「西白河地方発熱外来」についての現地調査を実施しました。

白河中央中学校では「AI顔認証サーモグラフィカメラ」の運用状況を確認し、大竹宏之校長から感染対策、保護者への対応などの説明を受けました。

「西白河地方発熱外来」診療所では担当職員から運営状況の説明を受けた後、白河医師



建設水道
常任委員会

来て、しらかわ補助金を利用し11世帯31名が移住

白河市債権管理条例等の一部を改正する条例のほか、議案4件が付託されました。

議案第90号
令和2年度白河市一般会計
補正予算（第6号）

問 福島県ブロック塀等安全対策促進事業補助金に係る、危険なブロック塀の調査状況は

答 主に児童の通学路である計19・6キロメートルにわたる、個人宅のブロック塀を調査中であり、その進捗状況は50パーセントである。

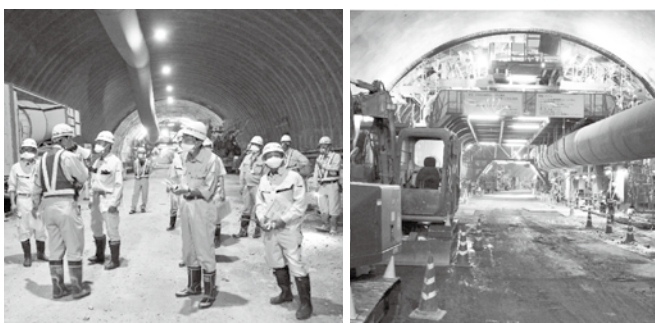
問 来て「しらかわ」住宅取得支援事業補助金を利用した県内外からの移住状況について

答 今年度、この事業を利用して、これまでに県内から6世帯18名、県外から5世帯13名、合計で11世帯31名が移住している。

R294号白河バイパス南湖トンネルを現地調査

9月18日、新たな本市の骨格をなす幹線道路として整備が進んでいる国道294号白河バイパス整備事業、南湖トンネルを現地調査しました。（10月16日、名称が公表されました）

同整備事業は南湖から豊地までの5・92kmで、トンネル474mを含む延長611mで改良工事が行われています。中心市街地を通るトンネルのため両側に歩道がありトンネル断面が広く、通学にも便利になります。9月17日現在、全長474mのうち282mまで掘削が進んでおり、2020年代初頭の供用開始を目指しています。



地質は軟質箇所も多く、薬剤注入工事やトンネル内への水漏れを防ぐ防水工も行われていました。